

した竜巻注意情報の場合、VPHW50と同様に見出し文において目撃情報について記述するとともに、Head/Headline/Information type のとりうる値として「竜巻注意情報（目撃情報あり）」を新たに追加し、目撃情報の通報された地域の名称を一次細分区域単位で記述します。管理部の情報名称（Control/Title）についてもデータ種類コードにあわせて新設し、“竜巻注意情報（目撃情報付き）”とします。目撃情報を内容に含まない場合は、既存電文と同様で、Head/Headline の Information type="竜巻注意情報（目撃情報あり）"は省略します。電文例を別紙 2 に示します。

新設電文は、目撃情報の有無に関わらず、竜巻注意情報の発表時には既存電文と同様に配信します。

なお、気象庁防災情報 XML フォーマットの詳細等については、「気象庁防災情報 XML フォーマット 情報提供ページ」（<http://xml.kishou.go.jp/index.html>）において関連資料を提供します。

4．情報の有効期間

竜巻注意情報の有効期間は、目撃情報の有無に関わらずこれまでと同様に発表時刻から約 1 時間です。目撃情報を内容に含まない竜巻注意情報を発表中に、目撃情報を活用した竜巻注意情報を発表する場合は、最新の竜巻注意情報が有効となります。

5．今後のスケジュール（予定）

平成 26 年	7 月下旬～	新設 XML 形式電文の配信試験
	9 月上旬	改善した竜巻注意情報の運用開始

詳細が決まりましたら、別途お知らせします。

6．その他

気象庁においては、「防災気象情報の改善に関する検討会」（平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月）での検討等を踏まえ、警報・注意報をはじめとする気象関係の情報の体系の見直しを検討しております（体系見直しを踏まえた情報提供は平成 28 年度を目途）。見直し後の電文体系については、確定次第お知らせします。

[添付資料]

別紙 1：既存電文の例

別紙 2：新設電文の例

既存電文（VPHW50）の例

- ・以下の例では、現行電文からの変更点を赤字で強調。
- ・目撃情報を内容に含めない場合は、現行と同様。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  <Control>
    <Title>竜巻注意情報</Title>
    <DateTime>20XX-02-12T04:22:00Z</DateTime>
    <Status>通常</Status>
    <EditorialOffice>京都地方気象台</EditorialOffice>
    <PublishingOffice>京都地方気象台</PublishingOffice>
  </Control>
  <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
    <Title>京都府竜巻注意情報</Title>
    <ReportDateTime>20XX-02-12T13:22:00+09:00</ReportDateTime>
    <TargetDateTime>20XX-02-12T13:22:00+09:00</TargetDateTime>
    <ValidDateTime>20XX-02-12T14:30:00+09:00</ValidDateTime>
    <EventID />
    <InfoType>発表</InfoType>
    <Serial>1</Serial>
    <InfoKind>竜巻注意情報</InfoKind>
    <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
    <Headline>
      <Text>【目撃情報あり】京都府北部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。京都府は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。</Text>
      ~ ~ 中略(現行電文と同様) ~ ~
    </Headline>
  </Head>
  <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">
    ~ ~ 中略(現行電文と同様) ~ ~
  </Body>
</Report>
```

既存電文（タツキジヨウキ1）の例

- ・以下の例では、現行電文からの変更点を赤字で強調。
- ・目撃情報を内容に含まない場合は、現行と同様。

京都府竜巻注意情報 第1号

平成XX年2月12日13時22分 京都地方気象台発表

【目撃情報あり】京都府北部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。

京都府は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。

空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、12日14時30分まで有効です。

新設電文（VPHW51）の例

- ・以下の例では、既存電文からの変更点を赤字で強調。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  <Control>
    <Title>竜巻注意情報(目撃情報付き)</Title>
    <DateTime>20XX-02-12T04:22:00Z</DateTime>
    <Status>通常</Status>
    <EditorialOffice>京都地方気象台</EditorialOffice>
    <PublishingOffice>京都地方気象台</PublishingOffice>
  </Control>
  <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
    <Title>京都府竜巻注意情報</Title>
    <ReportDateTime>20XX-02-12T13:22:00+09:00</ReportDateTime>
    <TargetDateTime>20XX-02-12T13:22:00+09:00</TargetDateTime>
    <ValidDateTime>20XX-02-12T14:30:00+09:00</ValidDateTime>
    <EventID />
    <InfoType>発表</InfoType>
    <Serial>1</Serial>
    <InfoKind>竜巻注意情報</InfoKind>
    <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
    <Headline>
      <Text>【目撃情報あり】京都府北部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。京都府は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。</Text>
    <Information type="竜巻注意情報(発表細分)">
      <Item>
        <Kind>
          <Name>竜巻注意情報</Name>
          <Code>1</Code>
          <Condition>発表</Condition>
        </Kind>
        <Areas codeType="気象情報 / 府県予報区・細分区域等">
          <Area>
```

```
<Name>京都府</Name>
<Code>260000</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
<Information type="竜巻注意情報(一次細分区域等)">
<Item>
<Kind>
<Name>竜巻注意情報</Name>
<Code>1</Code>
<Condition>発表</Condition>
</Kind>
<Areas codeType="気象情報 / 府県予報区・細分区域等">
<Area>
<Name>南部</Name>
<Code>260010</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
...中略...
</Information>
<Information type="竜巻注意情報(市町村等をまとめた地域等)">
<Item>
<Kind>
<Name>竜巻注意情報</Name>
<Code>1</Code>
<Condition>発表</Condition>
</Kind>
<Areas codeType="気象情報 / 府県予報区・細分区域等">
<Area>
<Name>京都・亀岡</Name>
<Code>260011</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
...中略...
</Information>
```

```
<Information type="竜巻注意情報(市町村等)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>竜巻注意情報</Name>
      <Code>1</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>
    <Areas codeType="気象・地震・火山情報 / 市町村等">
      <Area>
        <Name>京都市</Name>
        <Code>2610000</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
```

...中略...

```
</Information>
```

```
<Information type="竜巻注意情報(目撃情報あり)">
```

```
<Item>
  <Kind>
    <Name>竜巻注意情報</Name>
    <Code>1</Code>
    <Condition>発表</Condition>
  </Kind>
  <Areas codeType="気象情報 / 府県予報区・細分区域等">
    <Area>
      <Name>北部</Name>
      <Code>260020</Code>
    </Area>
  </Areas>
</Item>
</Information>
```

目撃情報を内容に含まない場合は省略。

```
</Headline>
```

```
</Head>
```

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">
```

```
<Warning type="竜巻注意情報(発表細分)">
```

```
<Item>
```

```
<Kind>
```

```
<Name>竜巻注意情報</Name>
```

```
<Code>1</Code>
<Status>発表</Status>
</Kind>
<Area>
  <Name>京都府</Name>
  <Code>260000</Code>
</Area>
</Item>
</Warning>
<Warning type="竜巻注意情報(一次細分区域等)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>竜巻注意情報</Name>
      <Code>1</Code>
      <Status>発表</Status>
    </Kind>
    <Area>
      <Name>南部</Name>
      <Code>260010</Code>
    </Area>
  </Item>
  ...中略...
</Warning>
<Warning type="竜巻注意情報(市町村等をまとめた地域等)">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>竜巻注意情報</Name>
      <Code>1</Code>
      <Status>発表</Status>
    </Kind>
    <Area>
      <Name>京都・亀岡</Name>
      <Code>260011</Code>
    </Area>
  </Item>
  ...中略...
</Warning>
<Warning type="竜巻注意情報(市町村等)">
```

```
<Item>
  <Kind>
    <Name>竜巻注意情報</Name>
    <Code>1</Code>
    <Status>発表</Status>
  </Kind>
  <Area>
    <Name>京都市</Name>
    <Code>2610000</Code>
  </Area>
</Item>
...中略...
</Warning>
</Body>
</Report>
```